

# 排尿行動学習指導案

ねらい  
 排尿行動体制変換を図るにききだつて、本児の腰をつかんで本児自身が自己の下腹部を叩くのなすけてやり、活動の展開の途中で必要に応じてはたらしきかけることを手がかりにして便所へ行ってオシッコをすることができるようになる。

## 過程 (学習内容、活動および留意事項)

(↑の記号は、その画側の事象が相繼いで起こることが認められることをあらわす)  
 (↓の記号は、環境の構成上必然のつながりであることを示す記号とする。(以下同じ))

● スポンを下げるなど → 下腹部を叩く  
 のしぐさを認めたら  
 ↓  
 触接刺激を受けたら → 移動を  
 下腹部に受けたら  
 ↓  
 便所の前 → 戸をあける  
 にくたら  
 ↓  
 便器に → たちどまる  
 接近して

● 2時間以上経過しても自発的行動の発現が認められないとき、その前後の状態を考慮して  
 排尿のためのはたらしきかけをする場合もあるが、こうした時、移動をはじめめるが、トイレ  
 の前をとりすききまもすることもある。そんな時には、改めて番号を発信してトイレを開け  
 てやるなど補助をする。

● また、こうした場合、トイレにはいつでも水道の方へ向うことが  
 多いので、そうなる前にかたわらで指さしや腕をつかむなどして  
 便器へ向うようにさせる。

● ひざまで下げるやめてしまふこともあ  
 るが、パンツやスポンをぬらしてしまふ場合が  
 多いので、ゴムの部分あたりの脚をつつくな  
 どして下げるようにする。

● 自分の手指で口唇のあたりを軽く叩くことをはじめ  
 ると、上半身をうごかしている腰の方によじるので  
 スポンなどにおシッコをかけることがある。そのた  
 め、シャツなどのすそをつかんでおさえているよう  
 にしむけてやる。

● スポンはパンツより少し下げておいてやり、まずパンツをつ  
 つかんで → オシッコをする

● オシッコが → 上半身をかが  
 ぬらしたら

● スポンを → 腰までひっぱ  
 つかんで

● スポンを下げたまま歩きたしてしまうことが  
 あるので、その前に音声「スポン」というの  
 と同時に、スポンのゴムのあたりの脚の部分  
 を軽く叩いてひき上げるよう促す。

● 右手をカラシンにかけると同時に左手指を蛇口におし  
 つけたりすることがあるので、水がはじけて衣服をぬら  
 さないように水をだしたらすぐに両手首をつかんで手  
 のひらをこするのを助けるようにする。

● はたらしきかけをしないといくと、水いじりをはじめるので、水をとめた  
 らすぐに肩を軽く叩いて上半身をおこすようにさせる。

● 腰をタオルにのばしたら、手首をつかんでこするのをなすけて  
 やり、手の甲はふいてやるようにする。

● タオルから手をはなしたら、身体を出口の方へ向  
 くのを肩をつかんで助けてやるようにする。

● こするのをなすけようとすると、これ  
 に強く抵抗することがある。腰をつか  
 んだ手の力をゆるめると、蛇口へ口を  
 近づける場合だが、水のまないで口  
 唇に水をあてているだけのときは、す  
 ぐに「オシッコ」の身振りサインを発  
 信して、手をこする活動へ変換するよ  
 うにさせる。

● 便器の前を離れて → 洗面所に接近する  
 ↓  
 カラシンに手をかけて → ひねる  
 ↓  
 両腕をのばして → 蛇口の下で  
 掌に水を受けて  
 ↓  
 掌を合わせて → こする  
 ↓  
 カラシンに右腕 → 水をとめる  
 のをばして  
 ↓  
 上半身をおこして → 手ぶきの方へ  
 身体を向けて  
 ↓  
 腰をタオルへのばして → 手をふく  
 ↓  
 タオルから → 出口へ  
 手をはなして

● また、洗うという体制づくりができていない状態にあるため、全面的にた  
 けてやるようにしななければならぬ。

● 右手の甲を軽く叩いて水をとめるのを促すが完全にし  
 めないことがあるので、再度くりかえす。

● 2時間以上経過しても自発的行動の発現が認められないとき、その前後の状態を考慮して  
 排尿のためのはたらしきかけをする場合もあるが、こうした時、移動をはじめめるが、トイレ  
 の前をとりすききまもすることもある。そんな時には、改めて番号を発信してトイレを開け  
 てやるなど補助をする。

● また、こうした場合、トイレにはいつでも水道の方へ向うことが  
 多いので、そうなる前にかたわらで指さしや腕をつかむなどして  
 便器へ向うようにさせる。

● ひざまで下げるやめてしまふこともあ  
 るが、パンツやスポンをぬらしてしまふ場合が  
 多いので、ゴムの部分あたりの脚をつつくな  
 どして下げるようにする。

● 自分の手指で口唇のあたりを軽く叩くことをはじめ  
 ると、上半身をうごかしている腰の方によじるので  
 スポンなどにおシッコをかけることがある。そのた  
 め、シャツなどのすそをつかんでおさえているよう  
 にしむけてやる。

● スポンはパンツより少し下げておいてやり、まずパンツをつ  
 つかんで → オシッコをする

● オシッコが → 上半身をかが  
 ぬらしたら

● スポンを → 腰までひっぱ  
 つかんで

● スポンを下げたまま歩きたしてしまうことが  
 あるので、その前に音声「スポン」というの  
 と同時に、スポンのゴムのあたりの脚の部分  
 を軽く叩いてひき上げるよう促す。

● 右手をカラシンにかけると同時に左手指を蛇口におし  
 つけたりすることがあるので、水がはじけて衣服をぬら  
 さないように水をだしたらすぐに両手首をつかんで手  
 のひらをこするのを助けるようにする。